

編集後記

アヴニール労務事務所 所長 柿野元博

<http://www.avenir-sr.jp>

E-Mail avenir4you@gmail.com

思えば、私は、じいちゃん子でした。

両親が商売をしていたので、同居していた祖父と一緒にいる時間が長かったのです。

祖父は、私の成長につれ、「モトヒロが小学校入るまで生きちよきたいな」。

私が小学校に入れば「モトヒロが中学校に入るまで生きちよきたいな」。

その後も「〇〇高校に入れるまで…」、「大学に入れるまで…」、「結婚するまで」。。

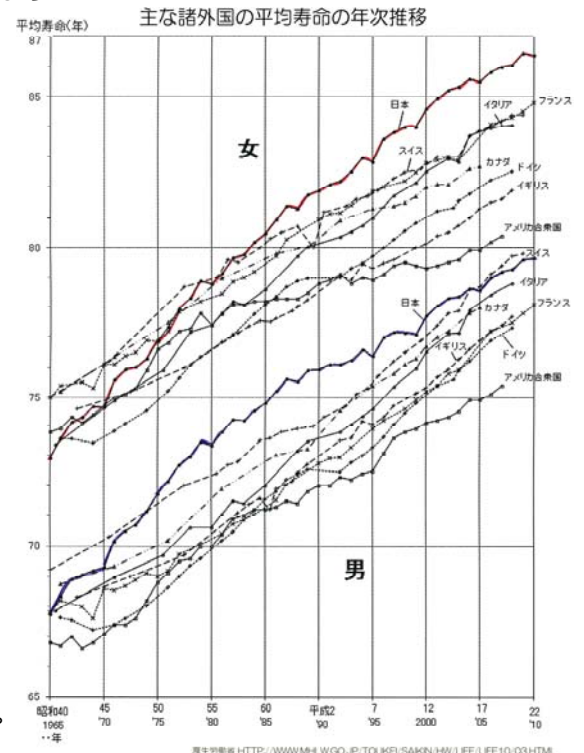
そんなことを言い続けたあげく、幸いにも私の孫も抱いてもらい、94歳で天寿をまっとうしました。

近所の人からは、「元気なじいちゃん」と呼ばれていたことを思い出します。



2013年の日本人の平均寿命が、**男性 80.21歳、女性 86.61歳**で、**いずれも過去最高を更新**し、男性が初めて80歳を超えたと発表されています。

女性は2年連続世界一、男性は前年の5位から4位に上昇とのこと。しかし、わが国も昔から長寿国家だったわけではありません。右のグラフのように、昭和40年代、まだ日本は中位程度の寿命。男性の平均寿命が世界の上位となったのは1975年くらい、女性であれば1980年前後のことです。



漫画「サザエさん」が新聞で掲載スタートとなったのは1946年。当時の設定では波平さんは54歳でフネさんは48歳でした。



テレビアニメ化された時に設定が見直しされ、フネさんは52歳ということになったそうです。(現在のフジテレビのHPではそれもぼかされているようです)つまり、日本でも少し前までは、50歳そこそこで、「おじいちゃん」、「おばあちゃん」という感覚でした。

(↑東京都世田谷区の波平さんの像)

現代で考えると、石田純一さんは60歳ですから波平さんよりずいぶん年上です。

榊原郁恵さんが55歳、松田聖子さんが52歳。「私がオバさんになっても」の森高千里さんは45歳なので、もうすぐ「私がオバアサンになっても」になっちゃいます。

古今、子供を産める年齢には大きな違いはないので、年齢からいえば、孫がいてもおかしくはないのですが、今の50代前半は「おじいちゃん」、「おばあちゃん」という感じではありませんよね。まだまだ働き盛りです。実際、私の周りの皆さんも、普通に活き活きとされています。



あの100歳の元気で明るい双子の姉妹、「**きんさん、ぎんさん**」を憶えてらっしゃいますか？

きんさんは107歳、ぎんさんは108歳で亡くなりましたが、亡くなる直前まで芸能活動や慰問を続け、その明るく前向きに生きた人生は、日本中を明るくしてくれました。

とっても素敵なこと、とっても大事なことだと思います。

100歳以降になってメディアに出演するようになって大金が入った時のこと。インタビューアからの「**お金を何に使いますか?**」という問いに対して、二人揃って「**老後の蓄えにします**」と答えたそうです。

そんな茶目っ気たっぷりの、可愛いおばあちゃんたちでした。

年を重ねても、そんな愛されるお年寄りになりたいものです。

これから、否応なしに、元気なお年寄りが求められる時代がやってきます。

長寿を誇るだけでなく、**健康長寿**を誇る国にしたいですよね。



あなた最近、物忘れがひどくなったんじゃない？

昔、祖父が大好きだったのが、「**みょうが**」。

幼い僕は苦手だったはずなのですが、いつの間にか大好物になりました。

少しずつ祖父に近づいているのかもしれないね。



僕は、過去を振り返らない男で・・・。

ミョウガ大好き男